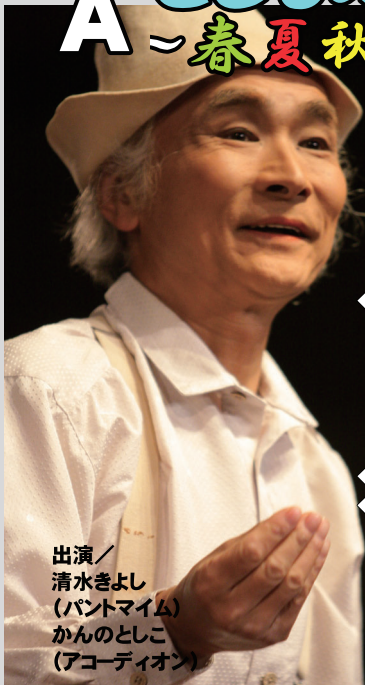


清水きよし マイム・シアター

A こどものじかん ～春夏秋冬



出演/
清水きよし (パントマイム)
かんのとしこ (アコーディオン)

- ◆プログラム
- ◆パントマイム
 - 「春の日に」
 - ポケットの中には
 - 捨て犬
 - 「夏の日」
 - 雨上がり
 - ◆音楽演奏
 - ◆パントマイム
 - 「秋の日」
 - あのね
 - 「冬の日」
 - 壁の向こうは...
 - 明日はきっと!

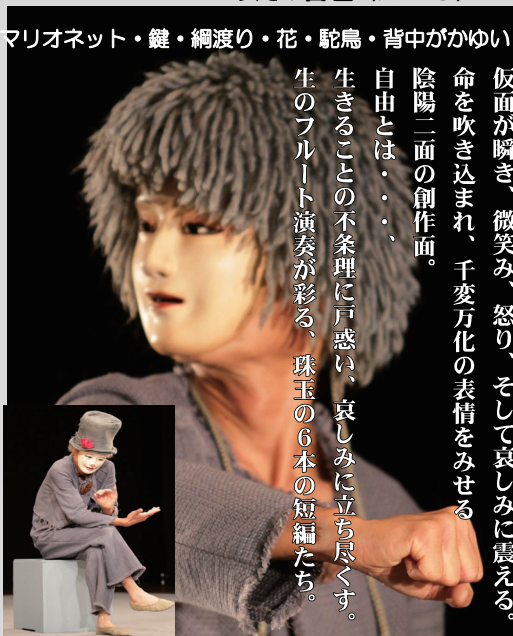
こどものじかん

暗くなるまで友達と遊んだあの日々。夏は一日陽ざしを浴びて真っ黒になり、冬は手足を真っ赤にして走り回った子ども時代。大人たちはまっすぐに子どもたちと向き合っていた。

大事にしたいのは信頼し合うこと。パントマイムは共演者やスタッフ、そして何よりもお客様との信頼関係で立ち上がるのです。

B KAMEN

出演/清水きよし (パントマイム)
うえの善巳 (フルート)



マリオンネット・鍵・綱渡り・花・駝鳥・背中がかゆい

仮面が瞬き、微笑み、怒り、そして哀しみに震える。命を吹き込まれ、千変万化の表情をみせる。陰陽二面の創作面。自由とは……、生きることの不条理に戸惑い、哀しみに立ち尽くす。生のフルート演奏が彩る、珠玉の6本の短編たち。

「KAMEN」

日常に潜む不安、不条理に押しつぶされる哀しみと怒り、知らず知らず犯してしまう行為の愚かさ。我々の心に沈殿する闇を見つめる。

C 幻の蝶

出演/
清水きよし (パントマイム)
共演 (選択) /
辻幹雄 (11弦ギター)
かんのとしこ (アコーディオン)
うえの善巳 (フルート)



第一部 /
オーソドックスなマイムの手法によるスケッチ
「風船売り」「手品師」「パンキ屋」「たばこ」

第二部 / 日本人の生活や文化に根ざした独自の風合い
「つり」「秋の日の思い出」「いのち」「幻の蝶」

箱が一つ置かれただけのシンプルな舞台が、演者の動きによって豊かな空間に生まれ変わるパントマイムの醍醐味。光が、風が、色彩が、そして音や香りまでが溢れるように観客の心に広がっていく。演じるものと見るものの互いの想像力が紡ぎ出す言葉のない空間の詩。それが清水きよしのパントマイムの世界です。

企画・制作



〒391-0100

諏訪郡原村17217番地419

HP: <https://art31project.com>